



2020年12月期 第4四半期
決算説明資料

2021年2月9日

株式会社ファンコミュニケーションズ

目次

2020年12月期第4四半期 業績ハイライト		P3
各種経営指標(四半期ベース)		P9
主要サービス区分別概要		P15
・CPAソリューション事業		
・ADコミュニケーション事業		
連結グループ事業		P29
株式について		P33
参考資料		P35

2020年12月期第4四半期 業績ハイライト

- 前年四半期比では売上高は86.2%、経常利益は66.5%となり、引き続き厳しい数字となった。
- 直前四半期比でも、売上高は89.1%、経常利益は87.4%と減収減益だった。
- コロナ禍の影響が、引き続き重くのしかかった。

1. テレワーク移行において、オンライン対応が不十分であり、リソースの最適化に時間がかかる（オフィスはフロア面積を1/3減らし、完全フリーアドレスにリニューアル）
2. コロナ禍の影響を受けた広告主の予算削減
3. コロナ禍によるオンライン消費導線の変化（GAFA及び著名サービスへの集中）
4. 消費の停滞（非EC、非オンライン型サービス）
5. 新規受注、新規稼働の停滞

連結損益計算書(1月～12月)

業績ハイライト

(単位:千円)	2020年12月期	2019年12月期	対前年同期 増減率	当期構成比
売上高	29,379,998	34,200,488	△14.1%	100%
営業利益	2,852,927	3,747,153	△23.9%	9.7%
経常利益	2,985,053	3,785,697	△21.1%	10.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,991,515	2,488,514	△20.0%	6.8%
売上高経常利益率	10.2%	11.1%	△0.9pt	-
1株当たり当期純利益	26.95円	32.85円	△18.0%	-
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	-	-	-	-

※潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

連結貸借対照表

業績ハイライト

(単位:千円)	2019年度末	2020年度末
資産の部		
流動資産	23,970,606	24,379,779
現金及び預金	18,610,946	19,532,772
売掛金	3,728,003	3,414,350
有価証券	1,019,563	1,096,914
その他	622,935	348,491
貸倒引当金	△10,842	△12,750
固定資産	3,154,585	1,941,796
有形固定資産	200,133	156,770
無形固定資産	640,722	596,852
投資その他の資産	2,313,729	1,188,173
資産合計	27,125,192	26,321,576
負債及び純資産の部		
流動負債	5,917,643	5,661,753
買掛金	4,207,343	4,321,757
未払法人税等	599,908	434,076
その他流動負債	1,110,390	905,918
固定負債	154,237	141,537
負債合計	6,071,881	5,803,290
純資産合計	21,053,310	20,518,285
負債純資産合計	27,125,192	26,321,576

主な内訳は投資有価証券830,836千円

主な減少要因は、自己株式を999,972千円取得した一方、利益剰余金が552,092千円増加したことによります。

連結業績予想

業績ハイライト

(単位:百万円)	2021年 通期予想 (対前年同期増減率)	2021年 第2四半期 累計期間予想	2020年 通期実績
売上高	28,900 (-1.6)	14,100	29,379
営業利益	2,720 (-4.7)	1,300	2,852
経常利益	2,740 (-8.2)	1,310	2,985
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,890 (-5.1)	900	1,991

【配当予想】

	2021年12月期 予想	2020年12月期
1株当たり期末配当金	19円	19円

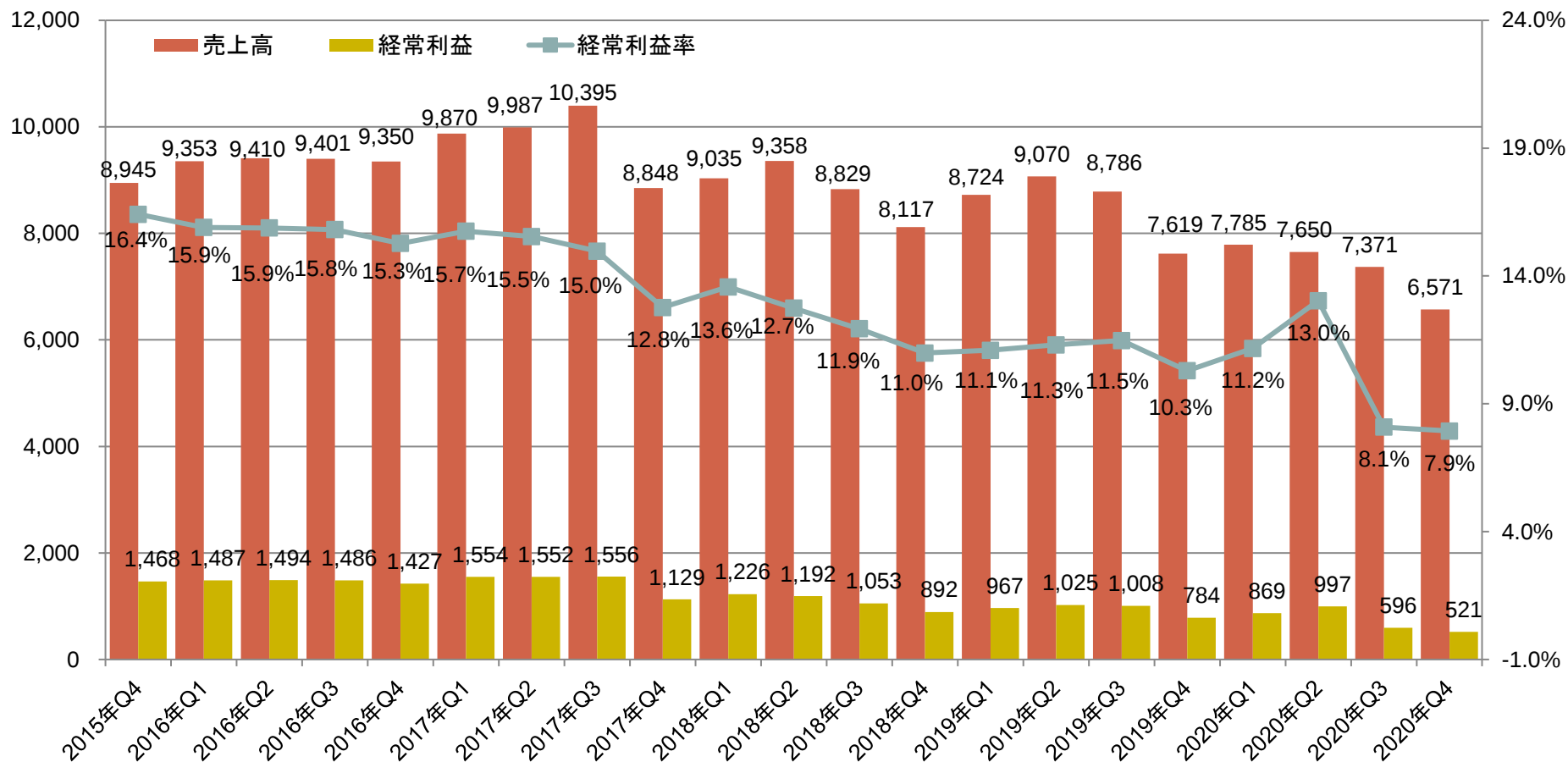
各種経営指標
(四半期ベース)

売上高、経常利益、経常利益率の推移

(連結・四半期ベース)

各種経営指標

単位: 百万円

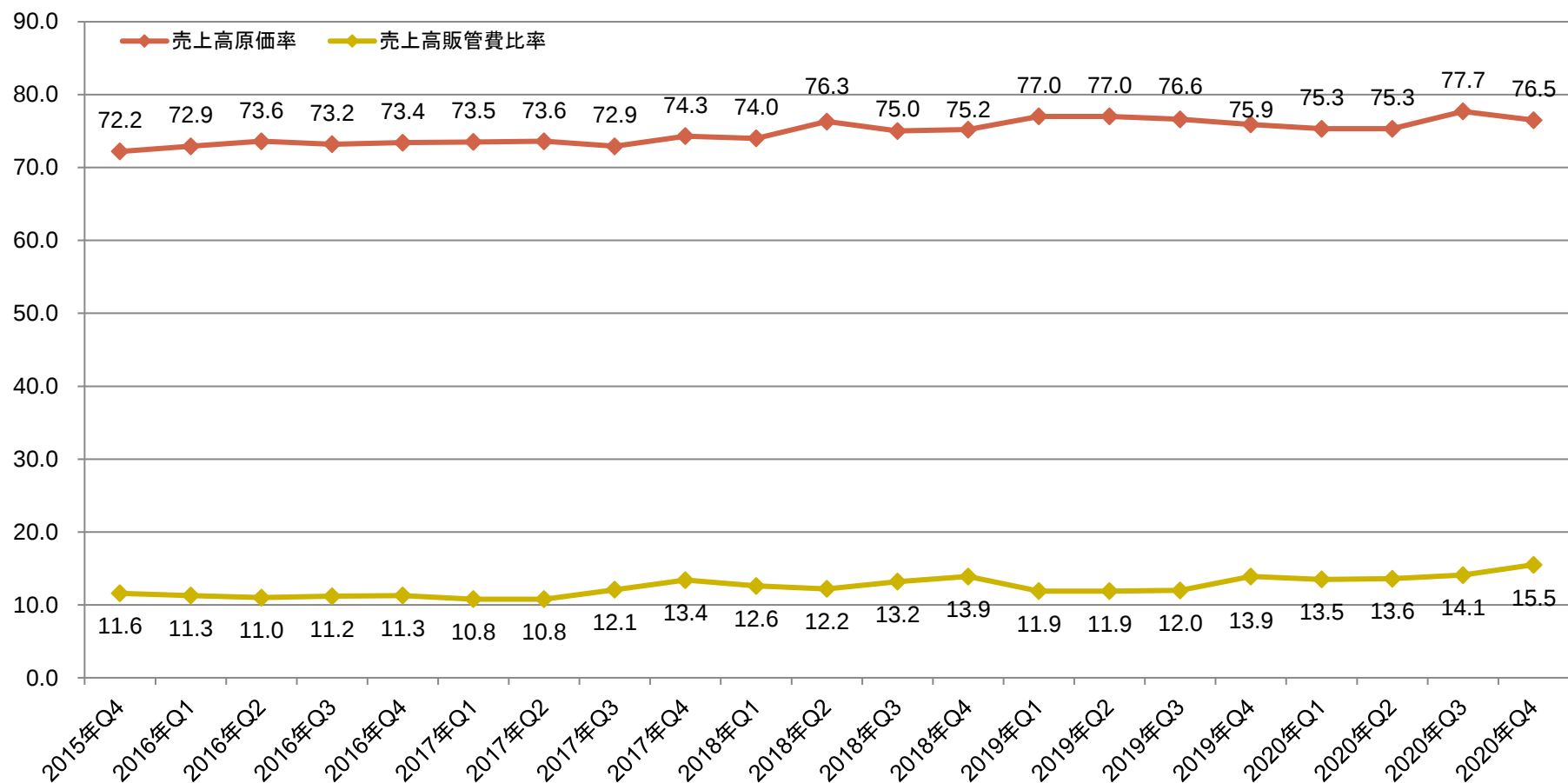


売上高経常利益率は7.9%となり、直前四半期より0.2ポイント減となった。

原価率、販管費比率の推移

(連結・四半期ベース)

各種経営指標



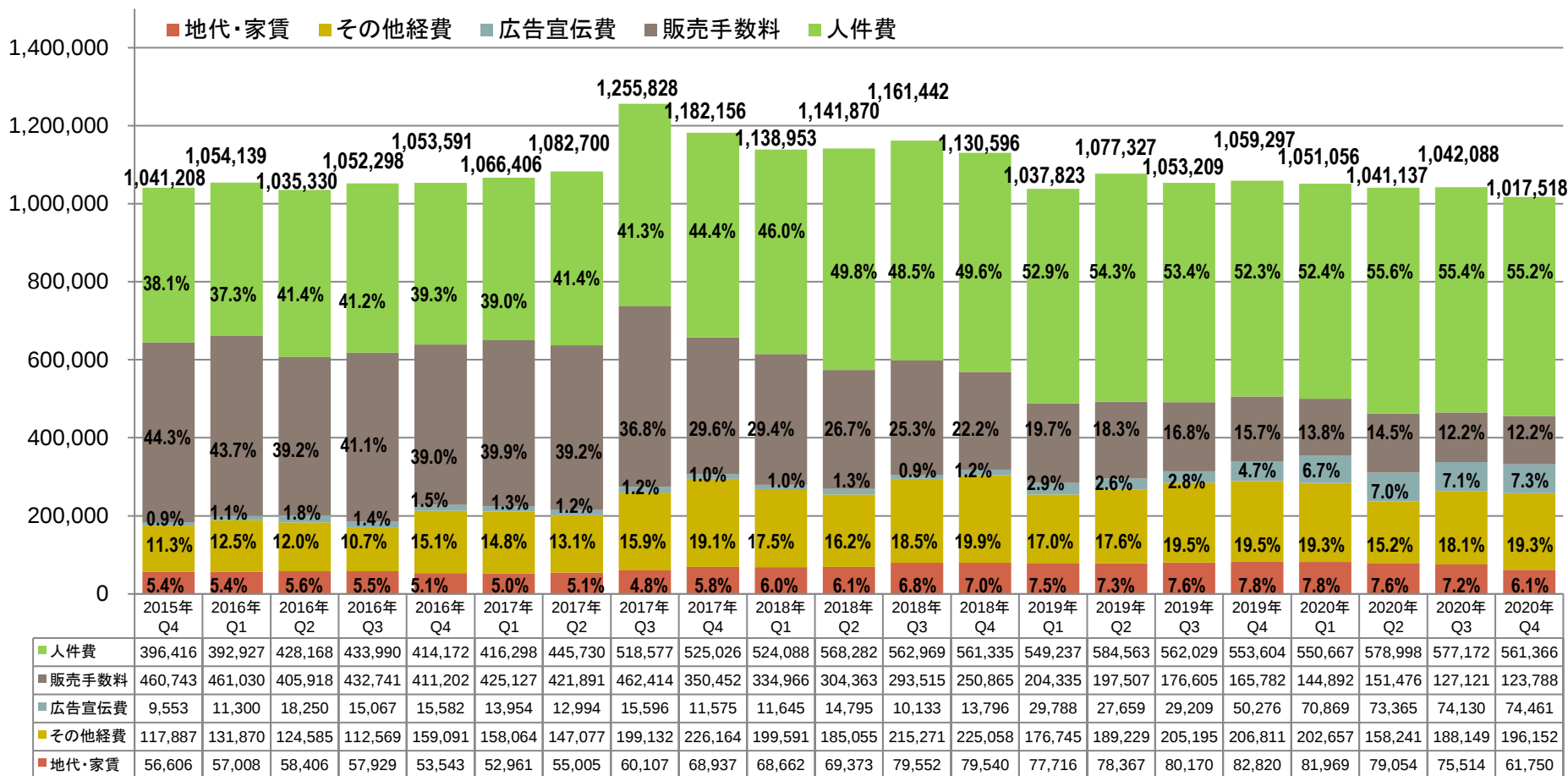
直前四半期より原価率は1.2ポイント減少、販管費比率は1.4ポイント増加した。

販管費

(連結・四半期ベース)

各種経営指標

単位:千円



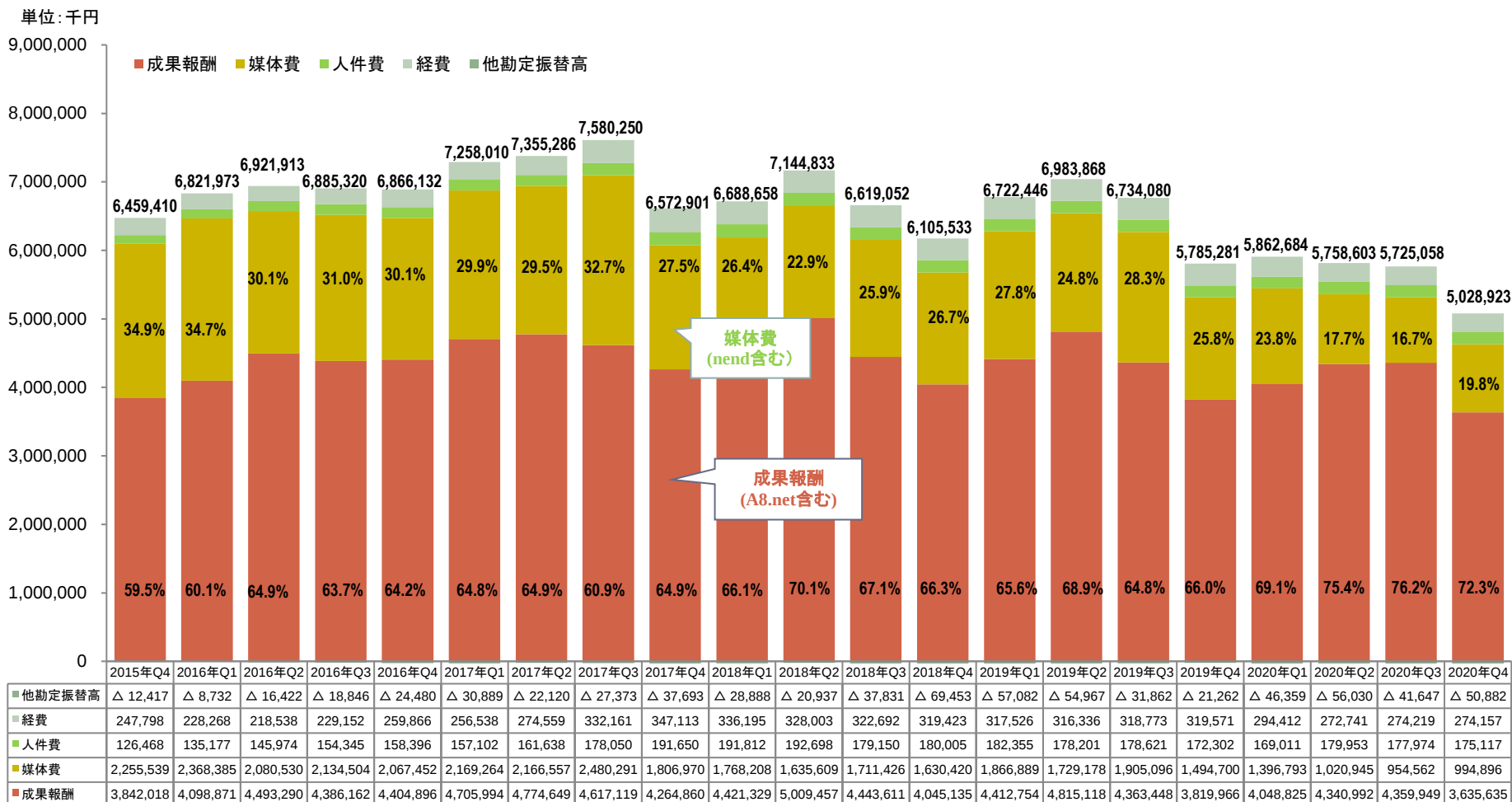
※その他経費は減価償却費、業務委託費、支払手数料、販売促進費など

その他経費の増加要因は、オフィスリニューアルに伴う諸費用。家賃はオフィス床面積の縮小で低下。

売上原価

(連結・四半期ベース)

各種経営指標

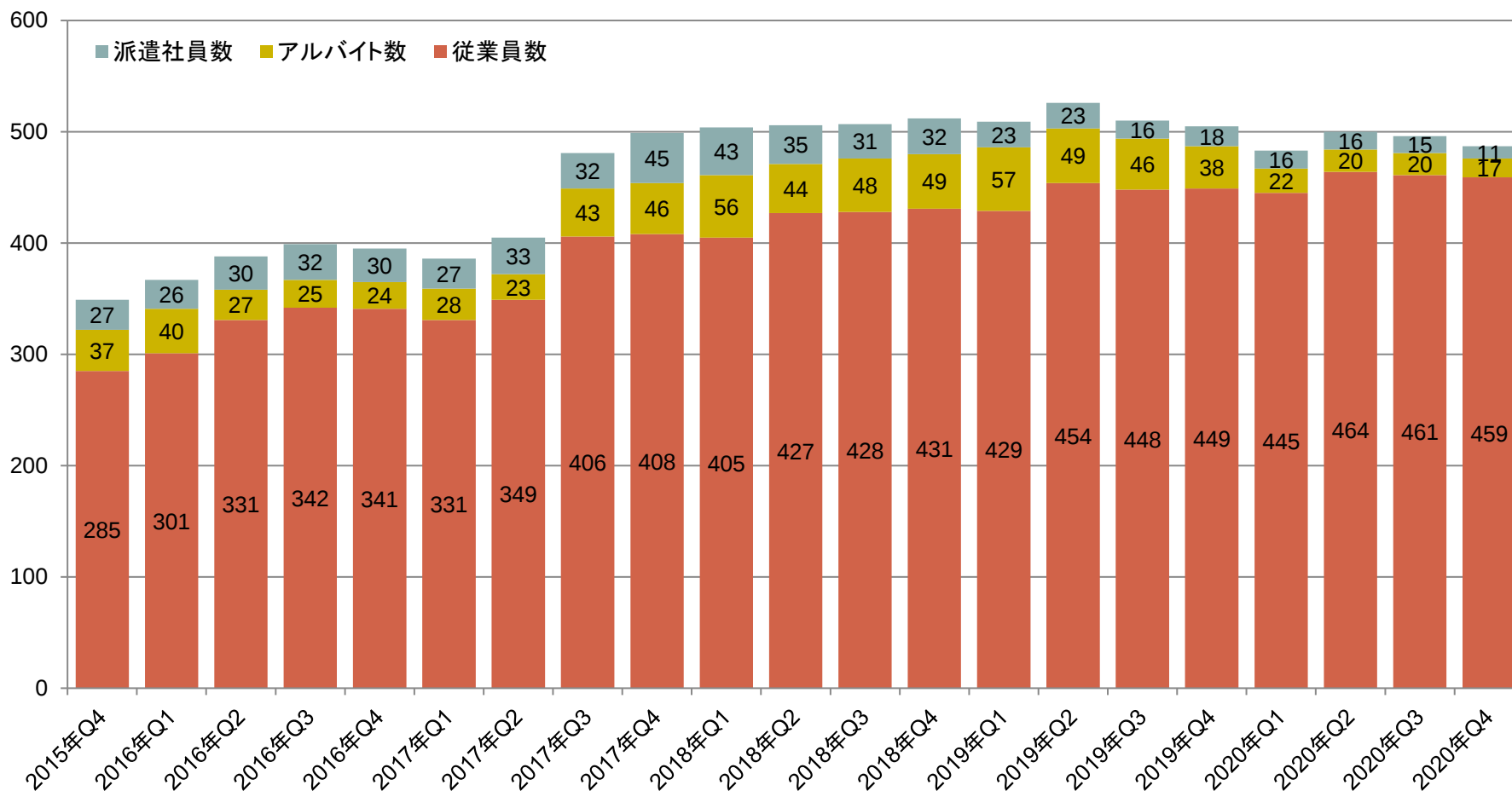


※成果報酬の主な内訳はA8.net、seedApp、媒体費の主な内訳はnend
 ※経費の内訳はデータセンター費用などのインフラ費用
 A8.netの成果報酬のウエイトが下がった。

従業員数の推移

(連結・四半期ベース)

各種経営指標



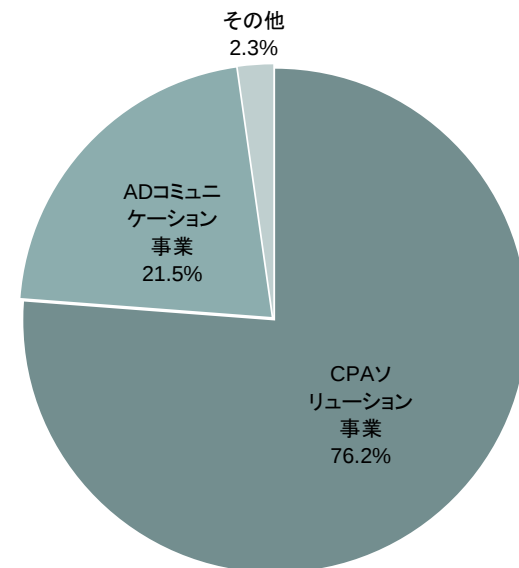
グループ全体の総スタッフ数は487人。前年同期比で18名減、直前四半期からは9名減。

主要サービス区分別概要

報告セグメント別の売上高の内訳 (連結・四半期ベース)

サービス区分別概要

単位: 千円	2020年 第4四半期(10~12月)	2019年 第4四半期(10~12月)	対前年同期 増減率
CPAソリューション事業	5,007,712	5,416,197	△7.5%
ADコミュニケーション事業	1,416,051	2,034,187	△30.4%
その他	147,883	168,616	△12.3%
売上高	6,571,648	7,619,001	△13.7%



＜CPAソリューション事業の主要サービス＞

A8.net、seedApp

＜ADコミュニケーション事業の主要サービス＞

nend、ファンコミュニケーションズ・グローバル

＜その他＞

シーサー

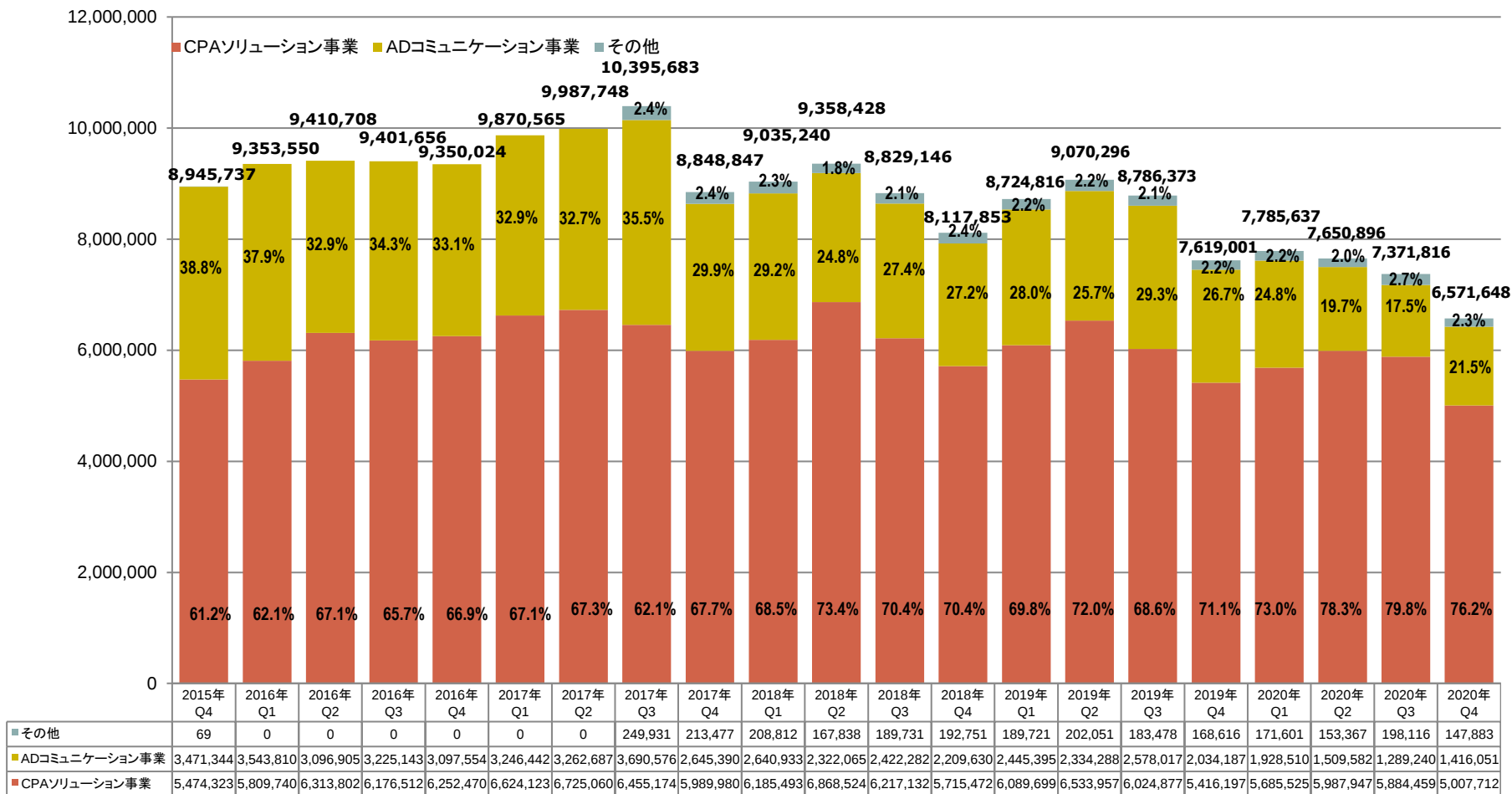
※売上高は連結間取引相殺後の数値です。

※2020年12月期より報告セグメントの名称をCPA型アドネットワーク事業から「CPAソリューション事業」、CPC/ターゲティング型アドネットワーク事業から「ADコミュニケーション事業」にそれぞれ変更しております。

報告セグメント別の売上高の推移 (連結・四半期ベース)

サービス区分別概要

単位: 千円



「A8.net」主要サマリー

CPAソリューション事業

単位: 千円	2020年 第4四半期(10~12月)	2019年 第4四半期(10~12月)	対前年同期 増減率
売上高	4,455,627	4,866,868	△8.4%
稼動広告主ID数	3,182	3,468	△8.2%
登録パートナーサイト数	2,889,117	2,711,938	6.5%

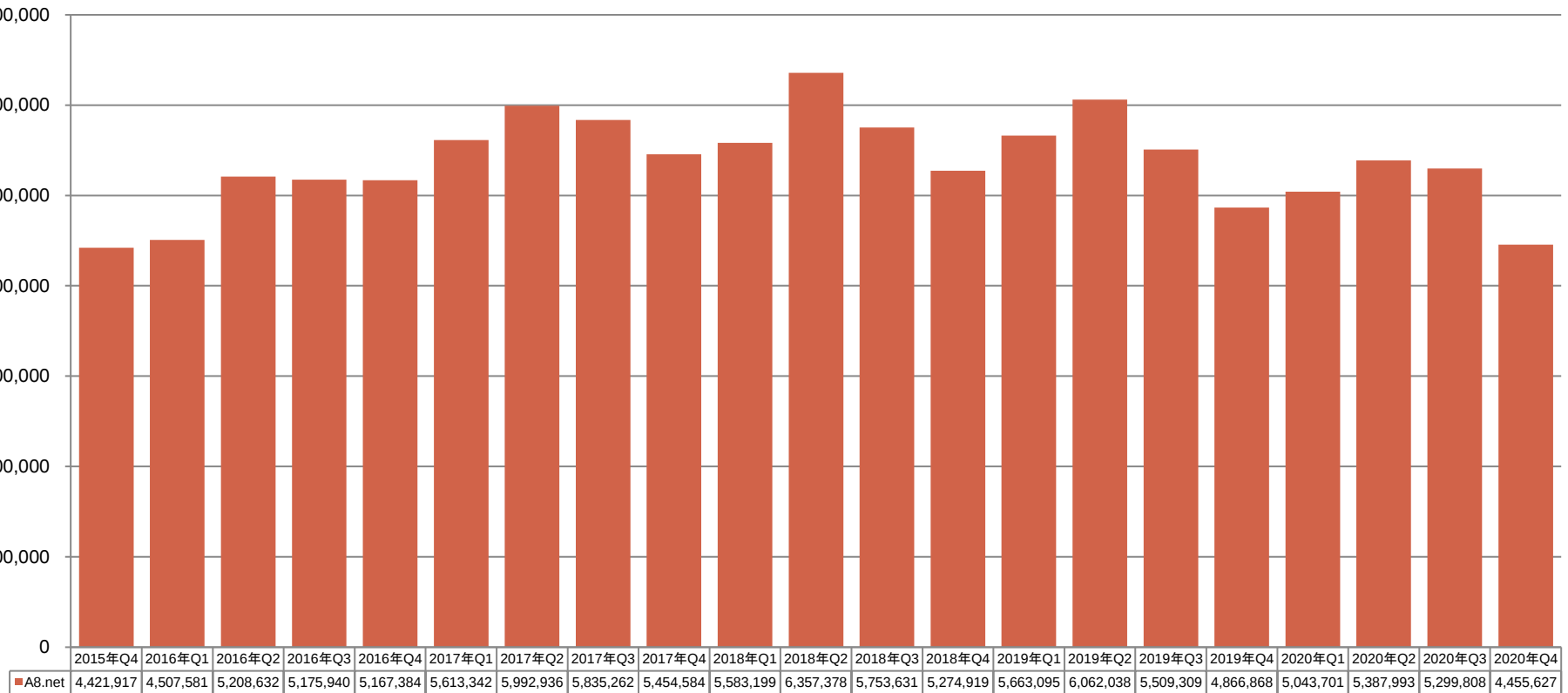
※売上高は連結間取引相殺前の数値です。
稼動広告主ID数は前年同期比較で286件減少した。

「A8.net」

売上高の推移(四半期ベース)

CPAソリューション事業

単位: 千円

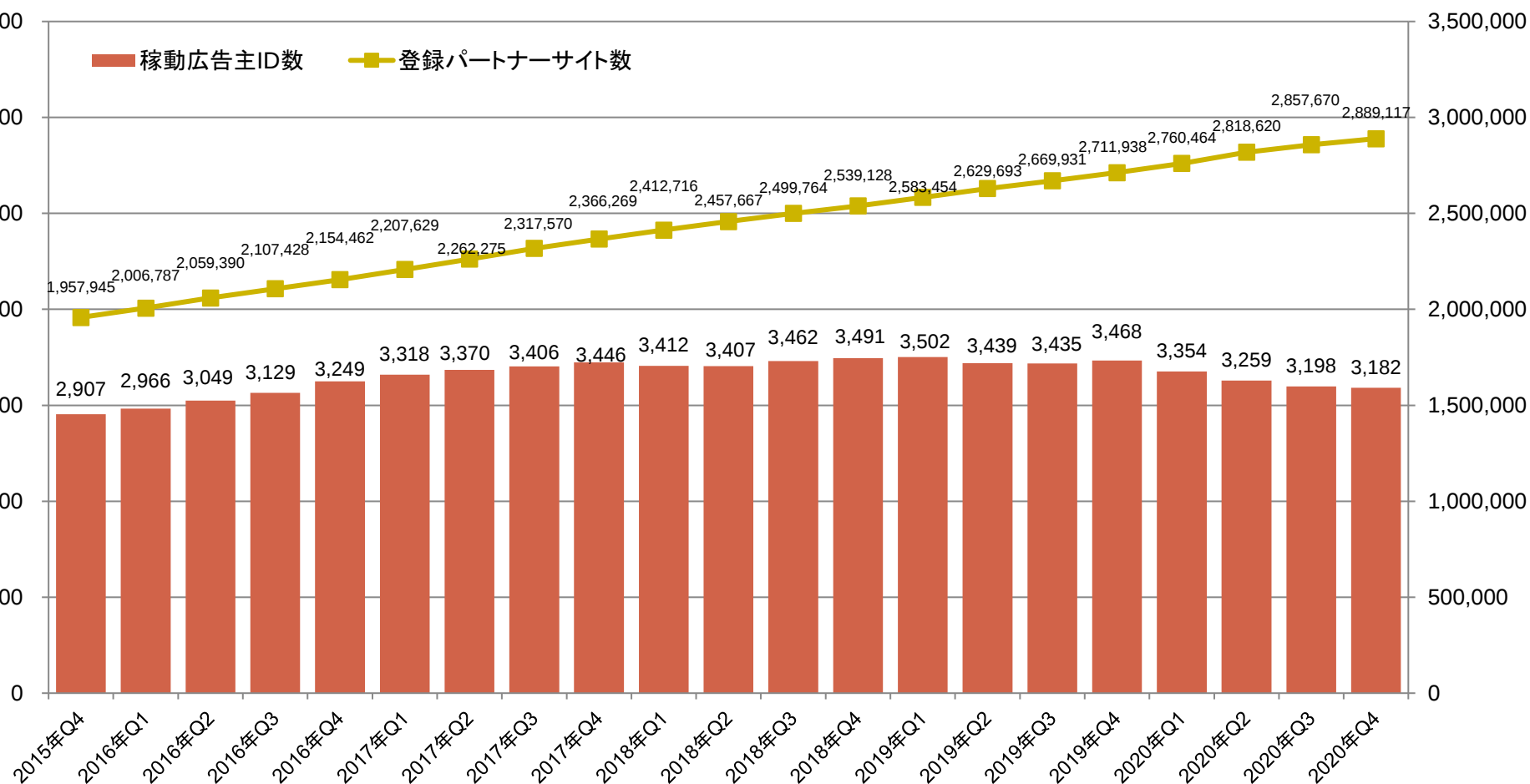


※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

「A8.net」

CPAソリューション事業

稼働広告主数と登録パートナーサイト数の推移(四半期ベース)



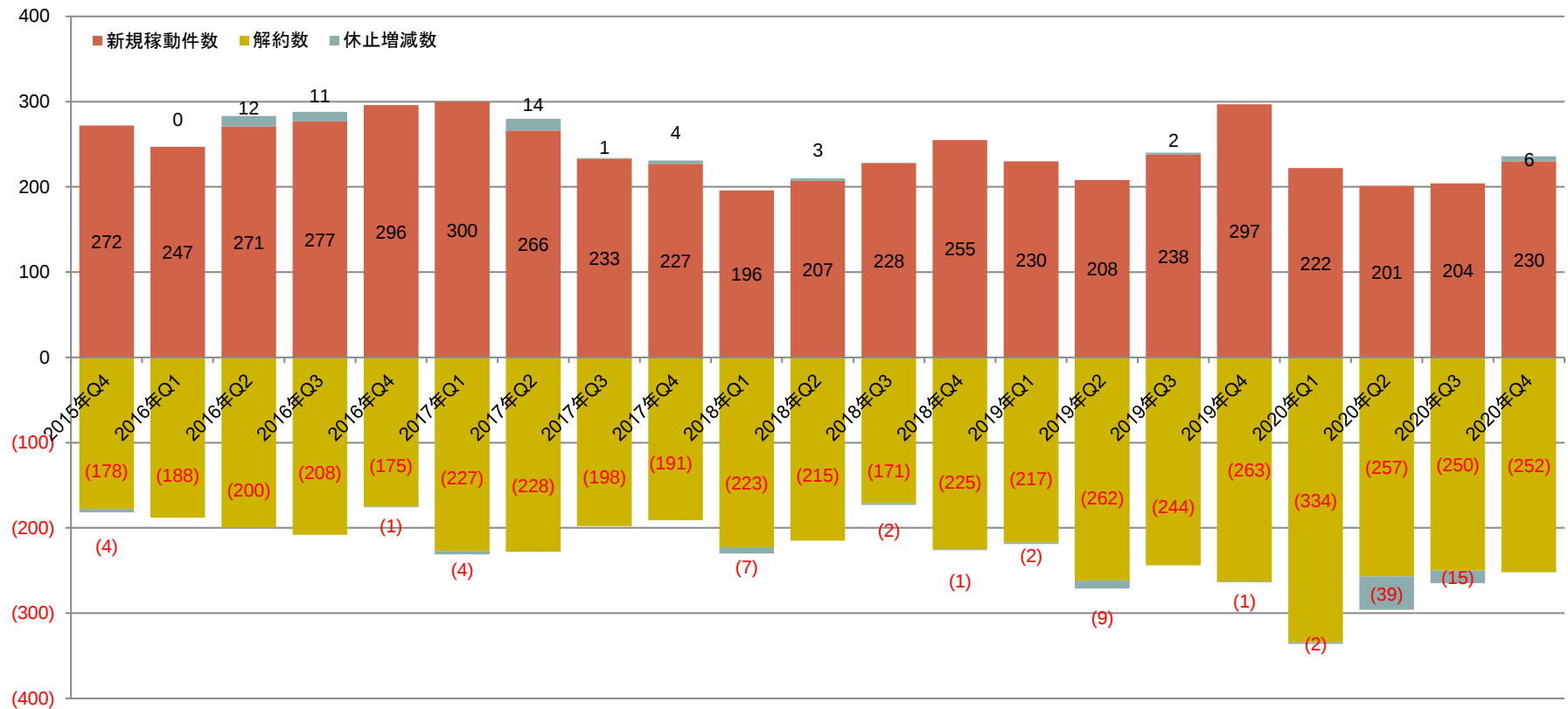
※稼働広告主数は各四半期最終月の稼働広告主数を記載しています。

稼働広告主数は直前四半期から16件減少した。海外の稼働広告主数は129件で直前四半期から4件減少。

「A8.net」

広告主の新規稼働、解約数の推移

CPAソリューション事業

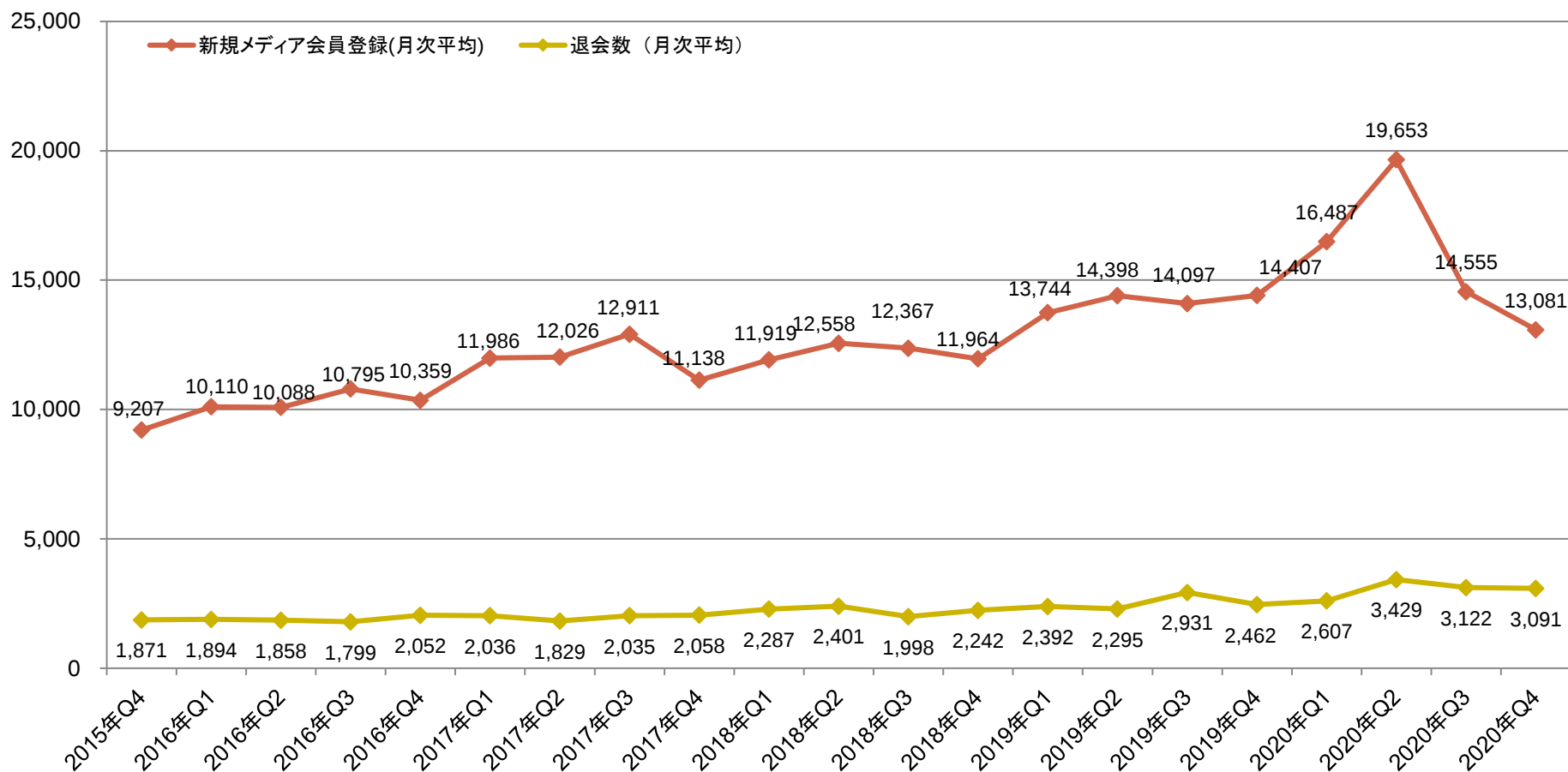


※「休止増減数」は、「稼働→休止」「休止→稼働」の差分より、「解約数」に含んでいる「休止→解約」の分を調整した数値
新規受注数が増え、新規稼働数は少しずつ改善しているが、受注から稼働までの期間が縮まらず課題になっている。

「A8.net」

CPAソリューション事業

新規メディア会員登録・退会の月次平均推移



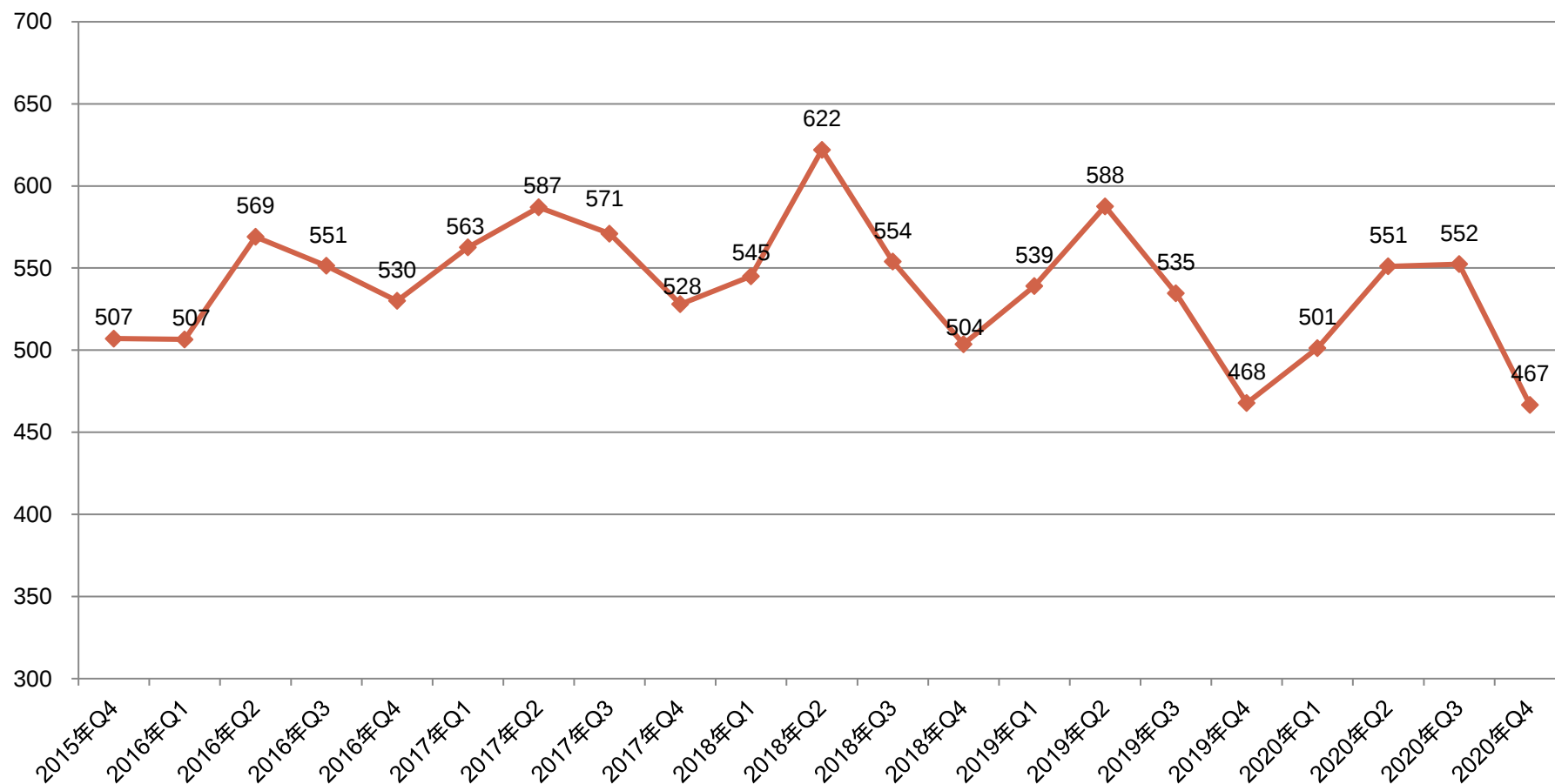
新型コロナ発生以降、メディア会員の新規登録数が大きく伸びていたが、コロナ禍以前の水準に戻った。

「A8.net」

1広告主あたり月次売上高平均推移

CPAソリューション事業

単位: 千円

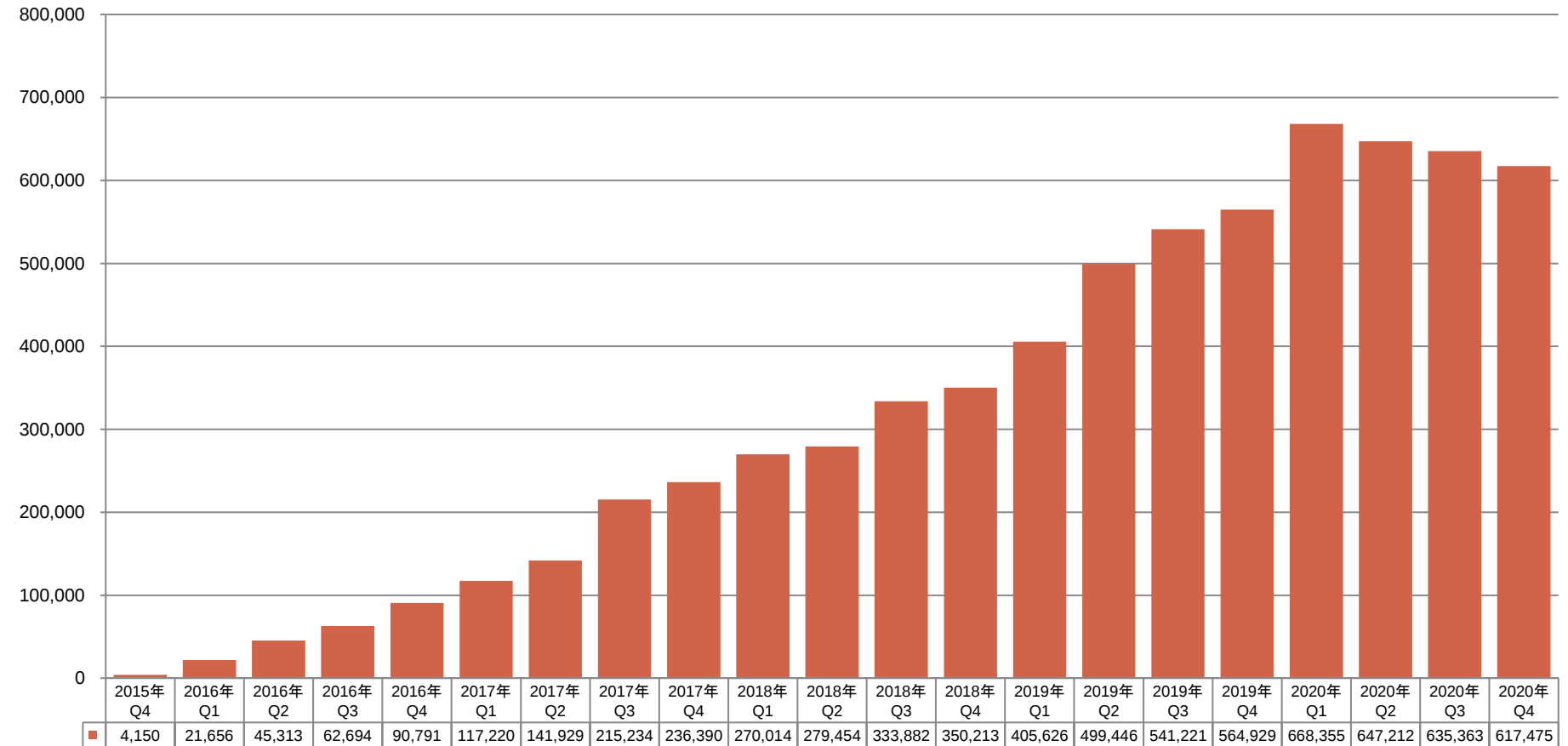


「seedApp」

売上高の推移(四半期ベース)

CPAソリューション事業

単位: 千円



※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

「nend」主要サマリー

ADコミュニケーション事業

単位: 千円	2020年 第4四半期(10～12月)	2019年 第4四半期(10～12月)	対前年同期 増減率
売上高	983,381	1,616,771	△39.2%
稼動広告主ID数	191	267	△28.5%
登録パートナーサイト枠数	1,018,937	982,499	3.7%

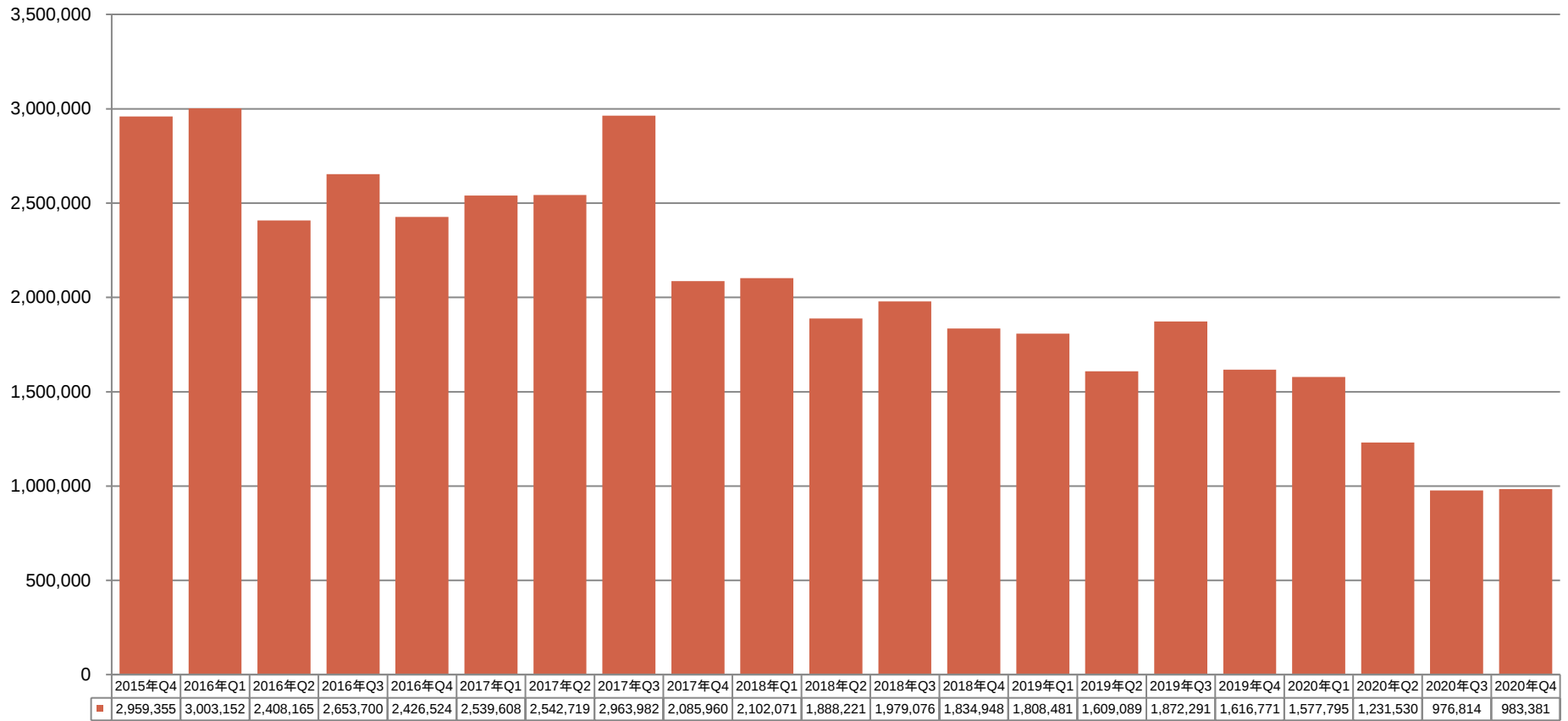
売上高は連結間取引相殺前の数値です。
※数値は「nend」のみのもので、他のサービスは含んでおりません。

「nend」

売上高の推移(四半期ベース)

ADコミュニケーション事業

単位: 千円

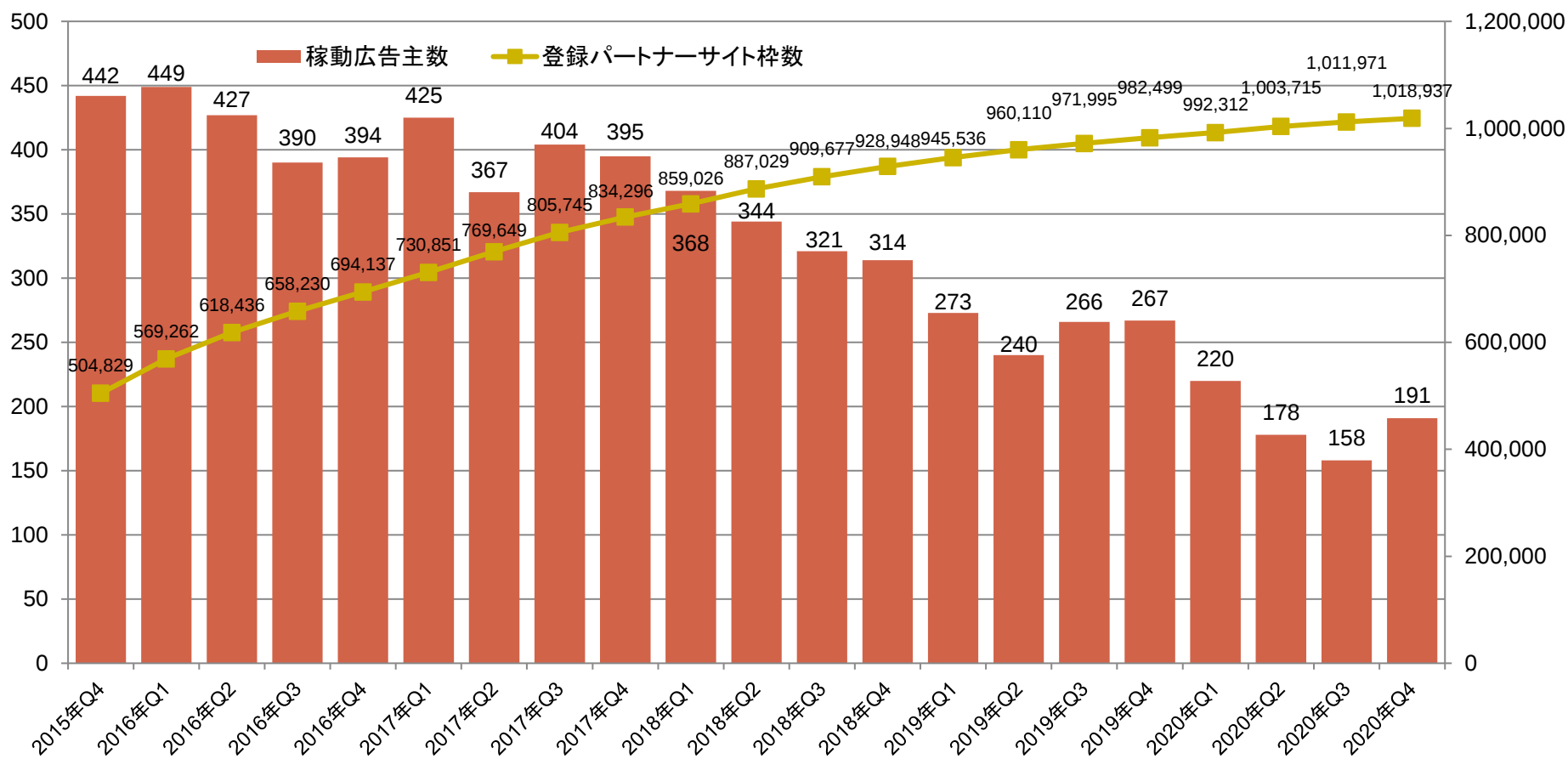


※売上高は連結間取引相殺前の数値です。

「nend」

ADコミュニケーション事業

稼働広告主数と登録パートナーサイト枠数の推移(四半期ベース)



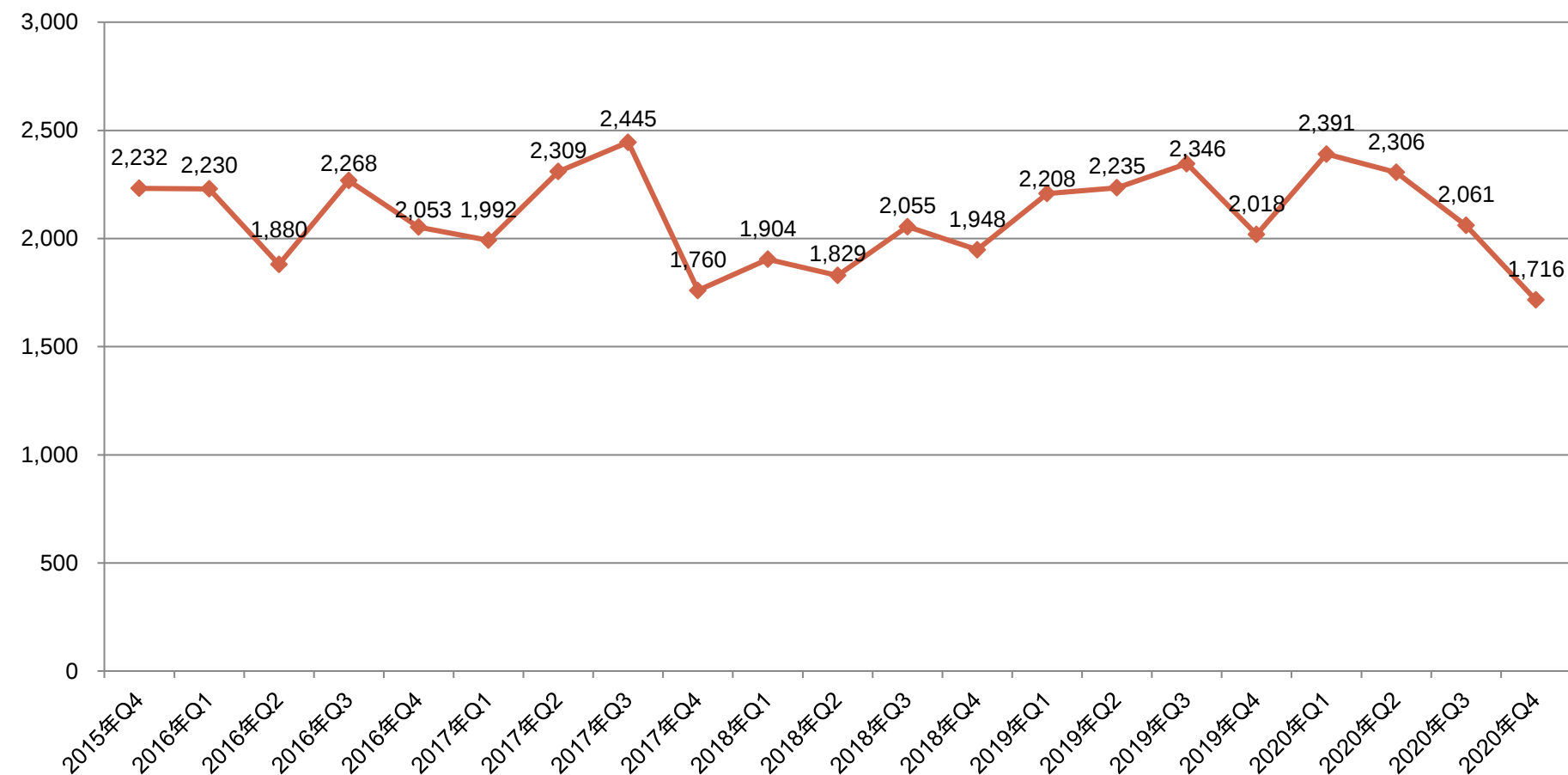
※稼働広告主数は各四半期最終月の稼働広告主数を記載しています。
稼働広告主数は直前四半期より33件増加。

「nend」

1広告主あたり月次売上高平均推移

ADコミュニケーション事業

単位: 千円



＜連結グループ事業＞

株式会社ファンコミュニケーションズ・グローバル

設立：2012年3月1日
（当社持株比率100%）

＜主な事業内容＞
スマートフォンアプリマーケティング支援事業
海外新規事業開発



※2019年10月1日付で旧株式会社アドジャポンより社名変更致しました。

単位：千円	2020年12月期 通期	2019年12月期 通期
売上高	2,335,402	3,227,956
営業利益	113,781	216,272
当期純利益	64,039	177,301

※上記金額は連結間取引相殺前の金額になります。

新型コロナウイルスの影響などにより、予算に対して低調な結果だった。

シーサー株式会社

設立：2003年10月
(当社持株比率100%)

＜主な事業内容＞

ブログシステムの開発、運営及び販売
スマートフォンアプリの企画・開発・販売
自社メディア運営

※2017年7月3日付で子会社化



単位：千円	2020年12月期 通期	2019年12月期 通期
売上高	766,317	837,644
営業利益	△58,130	△162,424
四半期(当期)純利益	△92,067	△229,536

※2017年7月より当社連結対象となりました。

※上記金額は連結間取引相殺前の金額になります。

事業の再構築を着実に進めており、赤字幅は縮小した。



2021年12月期予算計画のポイント

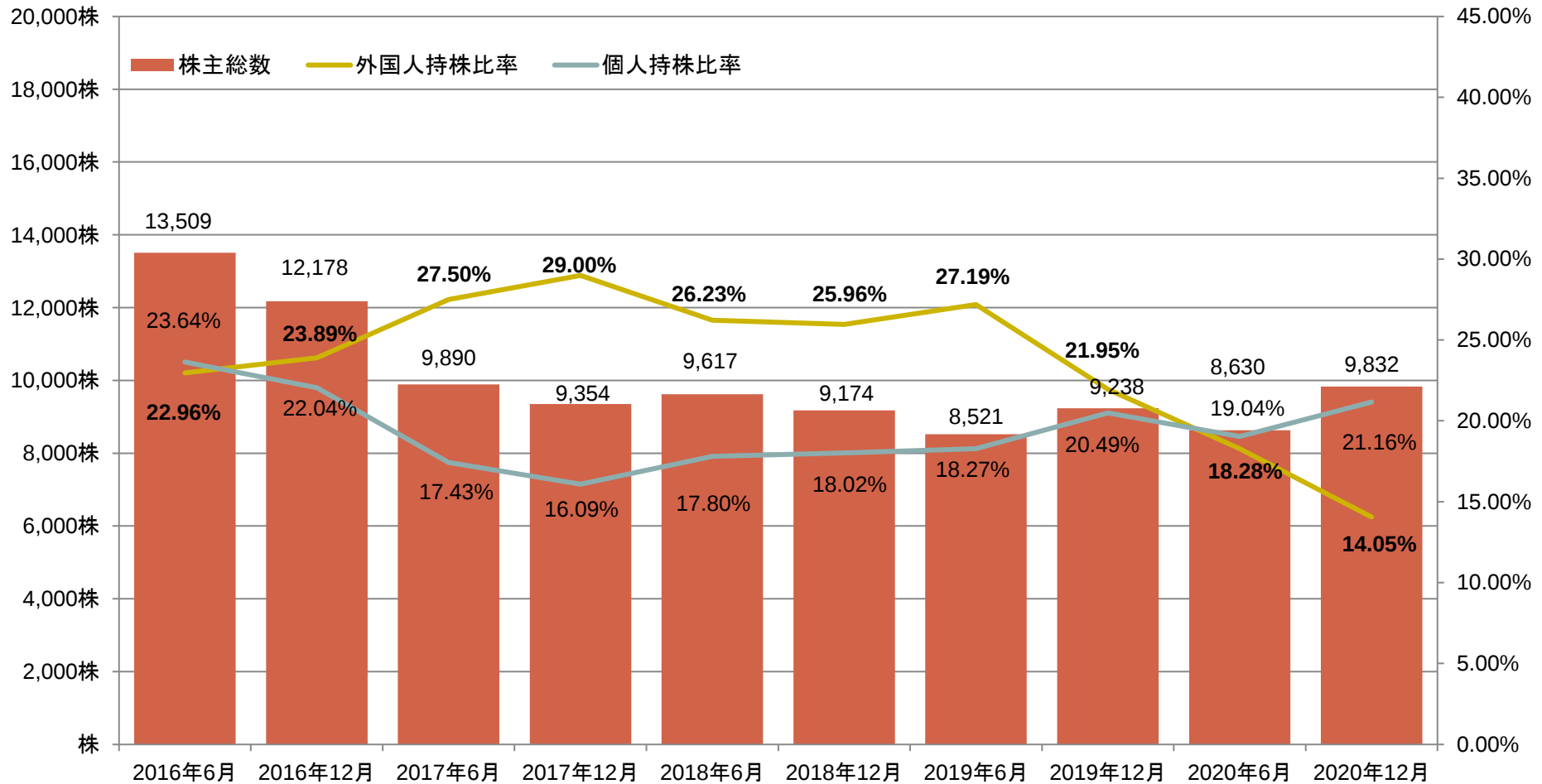
1. テレワーク体制におけるリソースの最適化
2. 新規受注拡大、早期稼働体制への集中
3. コロナ禍を経た顧客ニーズへの投資
4. 新規事業を育成するインキュベート機能の強化
5. コロナ禍を経た既存サービスのコスト最適化と、新しいチャンスへの準備

株式について

株式について

個人持株比率、外国人持株比率推移

株式について



※個人持株比率、外国人持株比率は、当社の役員・従業員の持株数を除いた数値です。

参考資料

経営ビジョン

プロシューマー・ハピネス

大量生産・大量消費の時代が生み出した
市場メカニズムが終わりを迎えつつあります。
生産と消費、その境界線があいまいになり、
どちらの顔も持つ「プロシューマー」であふれる時代がやってくるでしょう。
私たちファンコミは、そんな「プロシューマー」を支援する事業を展開し、
それぞれの喜びを最大化できる企業へと、新たに進んでいきます。

アドネットワーク・プロバイダーから プロシューマー支援企業へ

※2019年10月1日より経営ビジョン・企業ロゴの変更を行いました。
(<https://www.fancomi.com/20th/prosumer.html>)

会社概要

■ 会社名	株式会社ファンコミュニケーションズ (英文表記:FAN Communications, Inc.)
■ 証券コード	2461(東京証券取引所 市場第一部)
■ 決算期	12月
■ 設立	1999年10月1日
■ 資本金	11億7,367万円(2020年12月31日現在)
■ 代表取締役社長	柳澤 安慶(やなぎさわ やすよし)
■ 従業員数	単体422名(2020年12月31日現在※アルバイト・派遣社員含む) グループ合計487名(2020年12月31日現在※アルバイト・派遣社員含む)
■ 本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル
■ TEL	03-5766-3530(IR)
■ FAX	03-5766-3782

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。が、当資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

記載内容については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りやデータのダウンロードなどによって生じた障害などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ファンコミュニケーションズ

E-mail: ir-info@fancs.com